

2026年  
3月1日  
第3号

# ほくとぴあ

第31回全国交流集会  
東京現地実行委員会ニュース  
発行責任者 高井 豊治  
編集責任者 古城 育子

## 継続は力、次世代とともに創り、次への一歩へ

### 気持ちを前に大きな声で

東京ブロック 合唱班

第31回全国交流集会 現地実行委員会  
キャラクター MANARAN

2025年12月19日、第1回目の全体練習が11人の参加を得て始めた。日頃歌を歌っていない人たちが、発表曲の「手と手」「折鶴」の2曲を歌った。

「遅れたと思ったらスピードを出して歌えば追い付くよ」の指揮者からの励ましで、和気あいあい練習が出来た。

関東ブロックから二人が参加してくれて勇気ももらえた。ウクレレ伴奏も歌いやすいアクセントになった。東京ブロックの実情をふまえ、「間違っても・・大きな声でと」♪



労働大学事務所で荒畑夫妻も一緒で行なった合唱練習

全国の苦闘する担い手と交流し学び合う

関東ブロック 小林精一

昨年の四国ブロックを見ればわかるように、かつてと違って現地実行委員会の取り組み、頑張りが成功のカギを握っていると言えます。そんな中では今回の取り組みが次の関東ブロックの取り組みにつながり、生かされていくものでなくてはなりません。現状は参加目標60人と決め、文化交流出し物は「沖縄辺野古新基地反対共闘行動」として日本に軍事基地はいらない事をアピール、代表発言は神奈川県協・小谷田会長が発表する等確認しました。



千葉県習志野市内で開催したブロックチューター要請講座

“みんなで一緒にまとまって交流しながら参加する”

四国ブロック

四国ブロックでは2月15日に運営委員会を開催し、第29回成田集会で実行した「みんなで一緒に行動しながら参加する」ことを、今年の全国交流集会でもやっといこうと意思統一しました。具体的には香川県協と徳島県協の参加者が高松からできる限り同じ飛行機に乗り、道中も交流を深めながら参加するというものです(高知は条件的に厳しいため別便)。今回もまとめてジェットスターを予約し、複数人のリーダーを設けてみんな元気に現地入ります!

## 東京南部県協 “一人ひとりが主催者に、多くの仲間を集めよう”

三つの友の会それぞれが第31回全国交流集会の成功と多くの仲間を結集させるべく、第一学習会での呼びかけや取組みをお願いしています。今回は東京開催ということもあり、一人ひとりが主催者という意識で取り組む構えです。実行委員に文化担当（渡邊・磯部） ニュース担当（新井・佐藤）が参加しています。後4ヵ月しかありませんが、全力を注ぎ、8名の参加を目指し、1月24日の南部総会・旗開きで更なる仲間の参加を確認し、県協が一丸となって努力していきます。

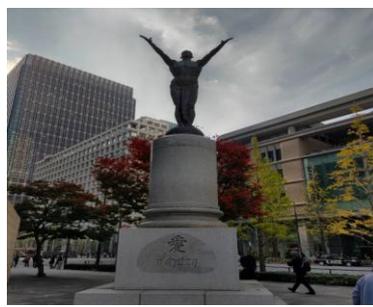


## 東京北部県協 “全員で力を合わせて成功させよう”



皆が主体的に行動し、できる時に、できる人が、できることを行い、力を合わせて全員で運動をつくっていくというスタンスで活動しています。全国交流集会に向けては、現地実行委員、文化交流担当、合唱参加者だけでなく、皆が助け合い成功に向けて取り組んでいます。全国の仲間と対面で交流することが私たちの元気の源であり、10人の参加目標を掲げ、病氣療養中の仲間も1日だけでも参加できるよう、声を掛け合い頑張っていきます。

### 東京観光案内 No. 2 東京駅南側 駅前広場 「愛の像アガペー」



戦後、戦争犯罪(戦犯)として捕まり、そしてスガモプリズンにて刑死および獄死、法務死された人々(いわゆるBC級戦犯、1068名)が残した幾多の遺書から作成した「世紀の遺書」の収益金の一部で建てられた。

「アガペー」とは、ギリシャ語「 $\alpha \gamma \acute{\alpha} \pi \eta$ 」(アガペー)、神の人間に対する愛、「無償の愛」の意味。元戦犯の方は、加害の罪を忘れてはいけないという思いで建たという発言も発信している。

### 現地実行委員会ニュース

6月13日の夕飯については、宿泊のホテルでの夕食用意はできません。結果、分散会の後休憩をはさんで、文化発表を行います。20時から各ブロック・県協ごとに遅い夕食を各自でお願い致します。北とぴあ周辺の食事ができるお店については、後日お知らせ致します。